

大会参加にあたって

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」に引き下げられ、国や自治体から求められる制限はなくなりましたが、感染リスクが無くなるわけではありません。県内にインフルエンザやヘルパンギーナ（夏かぜ）流行発生注意報が発令されており、これらが原因と思われる棄権が多くなっております。各自で感染症対策は行ってください。下記のとおり鹿児島県水泳連盟がこれまでに実施してきた 感染症対策の主な変更点は以下の通りです。

- | | |
|----------------|--------------------|
| ・ 不織布マスクの着用義務 | → 個人の判断 |
| ・ 入館時の検温 | → サーモカメラによるセルフチェック |
| ・ 消毒液の設置 | → 継続（手指消毒は個人の判断） |
| ・ 健康チェックシートの提出 | → 廃止 |
| ・ 会場内動線 | → 混雑を避けるために継続 |
| ・ 競技中の応援の制限 | → 制限なし |

◇今大会は有観客で行います。

1 開催日時 令和 5 年 7 月 22 日(土)

開門 7 時 30 分 開会式 9 時 10 分 競技開始 9 時 30 分

役員主任会 8 時 00 分 役員会 8 時 15 分 監督会議 8 時 30 分

2 開催場所 鴨池公園水泳プール

メインプール : 50m×10 レーン（水深 2.0m）

サブプール : 予算の都合で専用使用はありません。

25m プールは一般開放されています

3 参加者数 226 名（男子 117 名，女子 109 名） 参加 20 団

4 競技について

- (1) 競技は令和 5 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則により行う。
- (2) レースはタイム決勝とする。人数が少ない種目は異なるクラスや男女の合同で行う
- (3) スタートについて
 - ・ スタートは 1 回のルールを採用し、スタートの合図は「Take your mark (s)」で行う。
 - ・ スターティングブロックの調整は前泳者がスタート（入水）してから各自で行うこと。
 - ・ バックストロークレッジ（背泳ぎ用スタート補助装置）の水中投入は競技役員が行う。
 - ・ 飛び込みには自信がない場合は飛び込み台横や水中からのスタートも認める。

- (4) 水着については承認水着でなくても構わないが、形状に関しては承認水着と同じとする（以前の高速水着のような形状は認めない）
- (5) 競技進行はタイムスケジュールに従って行う。競技進行が早まった場合、時間調整をすることがある。その場合は通告にて連絡を行う。
- (6) 選手の招集について
- ・ 競技の進行状況に注意し、招集時間（競技 20 分前まで）に遅れないようにすること。
 - ・ 様々な感染拡大防止の観点からラウンジや招集所が密にならないように選手間の距離を 1m～2m 空けること。
 - ・ 第 1 招集…ラウンジにおいて選手間の距離を置いて指定場所に待機する。
 - ・ 第 2 招集…招集室にて選手の確認を行う。
- (7) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (8) リレーの引継ぎ違反は PT8000 により判定し、「-0.03 秒」までを許容範囲とする。
- (9) リレーオーダー用紙の提出については以下の通りとする。
- ・ 男女 200m フリーリレー（タイムレース決勝） 9：00 まで
 - ・ 男女 200m メドレーリレー（タイムレース決勝） 11：00 まで
- ※提出場所は、1 階自販機横リゾリューションデスク（RD）とする。
- (10) 棄権について
- ・ 競技開始 30 分前までに棄権届出用紙を 1 階 RD に提出すること。
- (11) 選手紹介について
- ・ アリーナに入場後、前の組が競技している時に選手名のコールを行う。
- (12) 競技結果の掲示は、2 階入り口付近外部デッキに掲示する。

5 開・閉会式について

観客席で起立し行う。

6 表彰について

- ・ 各種目 1 位～3 位までの入賞者は賞状を贈る。
本部記録室内の棚にチーム毎に入れておくので必ず持ち帰ること。

7 会場入館について

- (1) チーム受付（選手、監督・コーチなど引率者、マネージャー、トレーナー）
引率責任者は 1 階エントランスホールにて 7：10 以降、受付（プログラム配布と入館人数報告）を済ませること。
- (2) 入館…入館前は 4 列縦隊（出場者が 3 名以下のチームはその人数で）で整列する。整列については係員の指示に従うこと。入館時は 2 列縦隊になり体温検知サーモグラフィの前を通ること。選手の入場とともに入れる引率者の人数は制限しないが、常識の範囲内で。
- (3) 保護者等入館と会場内移動範囲について…8：30 に 正面玄関横階段からとし、退館もこちらからとする。その際、サーモグラフィの前を必ず通過すること。入場抽選等を行わない。保護者の移動範囲は保護者席内のみとし、選手席や控え場所への移動は禁止する。

8 レース前練習について

- ・ 入水前には必ずシャワーを浴びること。
- ・ レーンロープには乗らないこと。
- ・ プールへは、右側から足からの入水とする。

(1) プールの利用時間

開 門 7 : 30 ~

W-UP 時間帯 7 : 45 ~ 8 : 45 (60 分)

0 レーン	1 ~ 8 レーン	9 レーン
ダッシュレーン	ウォーミングアップレーン	ダッシュレーン

※ダッシュレーンの飛び込みは電光掲示板側からのみ

公式スタート練習 (1 ~ 8 レーン) 8 : 30 ~ 8 : 45 (15 分)

0 レーン	1 ~ 8 レーン	9 レーン
ウォーミングアップレーン	公式スタート練習	ウォーミングアップレーン

※公式スタート練習はスタート側からの一方通行

W-UP 終了 8 : 45

- ・ 今大会は男女共通レーンとする。
- ・ 公式スタート練習はスタートサイド側からの一方通行とする。
- ・ 道具について、ビート板、プルブイは使用できる。

9 会場利用について

① 館内およびプールサイドへの入場等

- ・ 選手のアリーナおよび招集所への動線は感染防止対策のために一方通行とする。
別紙『会場内選手動線』を事前に必ず確認すること。
- ・ 会場内では、選手は裸足で移動すること。監督およびコーチは更衣室～プールサイドにかけて裸足もしくはスリッパ・屋内用シューズに履き替えること。
※会場内…ただし、観客席・控え場所・トイレ・エントランスホールなどそこに行くまでの通路・階段は除く。
- ・ 選手・引率者のエレベーター使用は禁止とする。妊産婦や身体の不自由な方の優先とする。

② 選手の更衣室および控え場所ならびに観客席

- ・ 3 密を防ぐために、控え場所にて (一人用) テントを利用することを推奨する。テントは各チームで準備すること。
- ・ ロッカーの数は限りがあり、また更衣室内への利用人数制限もあるので、使用については下記の通りとする。
- ・ 更衣室に荷物を置いたままにし、場所の占有をしている状態が見られる。他の選手の行動の妨げになるので荷物を放置しないこと。競技役員が巡回し、指導を行う。

荷物が放置されている場合、役員が撤去するので注意すること。今大会はロッカーの使用を禁止する。

- ・ 飛込プール側観客席最上部には、応援可能な車椅子専用のスペースが設けてある。応援は可能であるが、車椅子の方が利用される場合は譲ること。
- ・ 選手控え場所は主に外部デッキ（2階）とする。許可された場所以外でシート等を敷かないこと。なお、前日の控え場所確保は認めない。
- ・ 大会期間中の降灰および雨天を考慮し、メインプール2階外部デッキにプライベートテントを設置する際は、強風等でテントが飛ばないように工夫すること。
- ・ 翌日の学童大会に参加する団があっても、各控え場所の荷物やテントは全て撤去すること。（大会後の一般開放があるので、紛失等があった場合、責任が持てない）
- ・ 外部デッキから物やゴミ等を投げ捨てることは絶対にしないこと。特に国道側外部デッキの下はバス停になっており、歩行者、自転車での通行も多いので、タオル、水着などの水を絞らないこと。

10 撮影について

今大会は撮影許可書の発行は行わない。撮影する場合は、スタート側からの撮影と競技会中のフラッシュ撮影は禁止する。

11 その他

(1) ゴミの処理について

- ・ 大会中各チームから出るゴミは各チーム責任を持って全て持ち帰ること。
- ・ 業者依頼の弁当については、持ち帰るか業者に回収を依頼し、確実に処分すること。
- ・ 「来た時よりも美しく！」ゴミを残さない大会を心がけ退館の際は、控え場所および観客席を再度確認して、ゴミや忘れ物がないようご協力すること。

(2) 事故・盗難・盗撮防止について

- ・ 大会期間中の事故に対しては、各チームで加入頂いている傷害保険等で対応すること。救急用品等は各チームで準備すること。
- ・ 貴重品の管理は各チームですること。プール施設管理者および大会本部は一切、責任を負わない。
- ・ 盗撮防止のために更衣室内でのスマートフォンやカメラの使用を禁止する。発見し次第、いかなる理由があれ、没収及び警察への通報等の対応をする。

参加選手または関係者が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の Web サイトやその他の公的な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けること。また、会場内の BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となるので注意すること。なお、撮影許可は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではない。

(3) 施設・設備・用具の使い方について

- ・ 大会中は施設（プール・控え場所・観客席・トイレ・更衣室等）の利用はルールと

マナー、常識を持って使用するよう周知徹底をすること。もし選手が施設・設備等を破損した場合は、引率者が本部まで連絡すること。また更衣室等の電源を使用して充電することは禁止する。

(4) 忘れ物の処理について

- ・ 大会本部およびプール施設管理者では忘れ物の管理・保管は行なわない。忘れ物がないように確認をすること。(大会後 1 週間を目途に処分する。)
- ・ 忘れ物があった場合、プログラムに掲載されている〔大会忘れ物調査のお願い FAX 送信票〕に必要事項を記入の上、スポーツ少年団水泳競技事務局まで FAX で問い合わせること。忘れ物を郵送等する場合は、「着払い」となる。

(5) プログラムについて

- ・ 各チームに 1 冊ずつプログラムを配布する。
- ・ プログラムの記載の誤りは、プログラム訂正用紙に記入の上、1 階 RD に提出すること。
- ・ プログラムは 1 冊 700 円で 1 階 RD にて販売を行う。

(6) 大会後、その他団活動においてのお願い

- ・ 大会、レクレーション活動、反省会、懇親会等の場で、他に迷惑がかかるような場所での遊びは控えてください。県内のとあるスポーツの団が飲食店の駐車場で周りに車があるところでボール遊びをしていた、それを指導者は注意していなかったと県スポーツ少年団の事務局に連絡があったようです。
- ・ 他人に迷惑をかけないという言葉はスポーツ少年団の綱領の中にもあります。また、指導者の心得としてスポーツのもつ教育的役割を果たすために努力するとあります。次世代を担う団員の健全育成のためにご協力をお願いいたします。

連絡先：鹿児島県スポーツ少年団交歓大会
水泳競技の部事務局 佐潟隆司
【電話】090-7161-6884

午後の競技開始前（11:30）に代表指導者会を行いたいと思いますので、競技役員もあり大変だと思っておりますが、ご参加お願い申し上げます。

今年度は、最も多くの参加者があった大勝スイミングスポーツ少年団に団員綱領唱和をお願いしております。一緒に綱領唱和をおねがいたします。